



東濃西部少年センター

		多治見	瑞 浪	土 岐	センター	合 計	少年相談
12 月	指導件数	2	2	3	0	7	電 話 4
	内女子件数	0	0	0	0	0	メ-ル 7
	声かけ件数	423	18	331	50	822	合 計 11
4月～12月 累 計	指導件数	14	32	24	0	70	電 話 70
	内女子件数	2	0	6	0	8	メ-ル 75
	声かけ件数	4,529	707	3,469	734	9,439	合 計 145



新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。



12月の指導結果は上記のようになりました。お疲れさまでした。

指導内容は、高校生男子の自転車無灯火 4名、ゲームセンターでの声かけ指導 3名
合計 7名でした。ありがとうございました。

ある地区の指導日誌から

- ・G銀行ウラ公園で高校生男1・女2がトランプをしていた。早く帰ろうねの声かけ。
(午後7時～午後8時に巡回)
- ・妻木川沿いで放置自転車を見つけ、交番まで持って帰って来た。書かれてあった所有者へ電話したが不在で出なかった。

指導部役員会から

昨年12月18日(金)に3地区の地区長・副地区長参加の指導部役員会議を開催しました。それぞれの地区が取り組んでいる指導活動から話していただきました。今後に生かしたいご意見を報告いたします。

1. 「 中学が荒れている」という問題のある地区・校区へは、他地区・地区指導部内の各々の校区から応援態勢をとることも必要である。
2. 指導員さんの指導活動への参加については、他の行事との重複が多いので、班内で指導員さん相互のスケジュール調整が必要である。

「代理」の参加を考えてはどうか。

指導員さんの意識レベルを変えることが大切である。

3. ある校区では、先生の出席率が悪かったので、黄色いジャンパーを着用して、年度当初に学校へ挨拶に行った。その後、先生の出席率は上昇した。子どもたちへの声かけは、先生が率先して行い、自分たちも声かけしやすくなった。

4. 地区での連絡網を整備して情報が入りやすくなったが、今後指導員さんへ上手く情報配信するためにメール配信の整備を考えたい。

等々、大変貴重なご意見をいただきました。センターも3地区指導部と一緒によりよい指導活動ができるように取り組んでいきたいと思えます。指導員のみなさんも、気づかれたことわからないこと、お気軽にセンターへ問い合わせください。

(下記の電話番号・メールアドレスを参考にしてください。)

尚、日頃は巡回後の貴重な時間を割いて、指導日誌を書きいただきありがとうございます。センターへ寄せられた情報の中で、センターで対応しなければならない問題等は現在ではありません。

センターからお知らせ

1. 平成22年度の費用弁償について

従来、指導員が少年センターの実施する指導活動に従事した場合、個人口座への振込方法によって、1回千円を支給(設置管理に関する条例第7条)してきました。

これに加え、22年度からは、センター3大行事及び指導部役員会議の場合も、指導活動の一環と考えて同様に個人口座への振り込み方法をとる方向で前向きに考えています。尚、**地区役員会議及び班長会議のみは、従来通り地区交付金から当日現金で支払われます。**

したがって、領収済みの署名・捺印が必要であることをご承知おきください。

注)・地区交付金からの支払いは、口座振り込みできません。

・センター3大行事は、委嘱式・新任指導員研修会・3地区合同研修会です。

2. 平成22年度指導部役員会議の隔月定例化について

少年センターの主要な業務である指導活動は、3地区とも共通の考えで進めていかねばなりません。一例ですが、「声かけ」は、青少年との人間関係・信頼関係をつくるための基本であるとの認識が大切です。こうしたことを役員会から各地区の指導活動の現場に周知徹底させていくねらいがあります。

地区指導員は、少年センターの運営方針に従い、職務遂行に当たっては
その指揮監督を受けなければならない。

(少年指導員業務要領第4条)

今月も高校生からのメッセージを3つ紹介します

- ・ 大人たちの 姿を見て育つ 私たち
- ・ 頑張ろう そう思えるのは 仲間のおかげ
- ・ 育てよう 未来を変える 子どもたち



何か気付かれたこと、ご不明なことがありましたら 下記へ連絡ください。

東濃西部少年センター (0572) 23-3455

メールアドレス anshin55@crux.ocn.ne.jp